

平成24年度
実施事業

事務事業名	学校開放事業
-------	--------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	4	施設整備の推進
主要な施策	3	③利用者間の調整
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 54 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	学校の体育施設を開放することにより、その地域のスポーツ活動が促進され、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>学校等の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲で開放し、市民がスポーツを楽しむ場を提供し、生涯スポーツの促進及び健康・体力づくりの増進を図る。</p> <p>【学校等屋内体育館10施設】カント・レラ、登別中学校、登別小学校、幌別東小学校、幌別小学校、幌別西小学校、青葉小学校、富岸小学校・若草小学校・鷺別小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日（18：00～21：00）に限り開放する。 利用券により、体育館の電灯料相当分として実費負担金を徴収している。 少年団体：1回の利用につき250円 一般団体：1回の利用につき500円 学校開放中の管理については、カギの管理も含め登別市シルバー人材センターへ委託。 (新規利用や連絡調整は社会教育グループで対応)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	学校開放に係る経費や開放事業の位置づけなどを精査した結果、平成25年度より若草小学校および青葉小学校を先行実施校として利用団体による自主管理を行う。
根 拠 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市立学校体育施設開放事業の管理運営に関する規則、登別市立学校体育施設（屋内運動場）開放事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道 支出金	名称	千円					
地方 債	名称	千円					
そ の 他	名称	千円	787	821	1,000	1,000	1,000
一 般 財 源	名称	千円	3,474	3,740	3,473	133	133
事業費 合計			4,261	4,561	4,473	1,133	1,133

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 開放回数（年間延べ）	日	目標値	1,700	1,700			
			実績値	1,493	1,596			
	② 利用者数（年間延べ）	人	目標値	36,000	36,000			
			実績値	24,845	26,715			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
市民のスポーツへの関心が高く、各校とも飽和状態の利用状況となっている。	利用者間で調整を行いながら利用の促進を図る。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 地域のスポーツ活動を促進し、スポーツの振興を図るため、市が行うことが妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図るため、必要性が高い。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 経費の大部分が学校施設の管理委託であるため、施設の安全管理面から現状の予算で事業を行う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 各地域のスポーツ少年団が練習場所として使用するなど、青少年の健全育成の場となっているほか、多くの団体・グループが利用しており、市民スポーツ促進の場として定着している。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	学校の体育施設を開放することにより、その地域住民のスポーツ活動が促進され、健康・体力づくりの増進を図るため必要である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

改善	備考	平成26年度からの全校の開放に向けて事務を進めること。
-----------	----	-----------------------------